

## 目 次

会 長 挨拶	加 藤 静 夫
特 別 講 演	
ヨーロッパにおける植物防疫研究機関の実状	深 谷 昌 次 1
一 般 講 演	
病 害 の 部	
葉イモチ病病斑型と胞子形成	市川久雄・原田敏男・近藤 祖 3
抵抗性の異なるイネより分離したイモチ病菌の病原性	市川久雄・下山守人 4
早期栽培の水稻節イモチ病防除について	伊藤泰次・円城寺定男 5
穂首、枝梗イモチ病の防除時期	本橋精一・横浜正彦・阿部善三郎・平野寿一 6
早期栽培水稻の紋枯病防除時期について	杉本 堯・滝田泰章・田中政美 7
稲紋枯病に対する各種薬剤の防除効果について	高野誠義・小森 昇・祝迫親志・埜 治雄 8
稲白葉枯病の実態調査について	安 正純・吉野正義・島田 茂 9
本田の窒素施用量が縞葉枯病、萎縮病の発生におよぼす影響	安尾 俊・石井正義 10
縞葉枯病に関する研究(第6報)早期栽培稲の発病について	熊沢隆義・杉本 堯・谷中清八 11
早期および早植栽培における縞葉枯病、萎縮病の発病時期と被害	安尾 俊・山口富夫・石井正義 12
播種量と移植期が縞葉枯病発生におよぼす影響とその防除効果について	津金昭二・樋口 勉 13
縞葉枯病の防除時期について(第2報)	加 藤 義 親 14
埼玉県東南部のヒメトビウンカの発生量と縞葉枯病の関係	須 賀 秀 文 15
Thimet 処理による稲ウイルス病感染防止効果について	池田義久・田川憲夫・柳 武・早川広美・呉羽好三 16
Thimet の稲苗処理と稲ウイルス病の発生について	清水節夫・小林和男・柳 武・関谷一郎 17
陸稲株枯病について(第1報)	杉本 堯・高久恒夫・滝田泰章・田中政美 18
埼玉県児玉郡の麦うどんこ病の発生と防除	大塚 正 十 郎 19
X体による麦類モザイク病の判別について	吉 岡 恒 20
茨城県における土壌伝染性麦類モザイク病について	吉 岡 恒 21
玉蜀黍黒条萎縮病の感染時期について	小尾充雄・小管喜久弥 22
千葉県に発生するトウモロコシとテオシントの病害	西 原 夏 樹 23
甘藷インターナルコルクの成因に関する研究(第2報)肥料および微量要素との関係	森 寛一・池上雍春 24
甘藷の薬剤消毒について(第1報)	森 寛一・武藤 進 25
じゃがいもに対する農薬散布法の検討	山岸義男・中沢嘉富・早川広美・呉羽好三 26
馬鈴薯疫病に対するストレプトマイシン剤の防除効果について	桜井義郎・森 寛一・沢田 肇 27
落花生の被害防除に関する試験(第4報)水和硫黄剤による黒渋病および褐斑病防除試験	沼田 巖・円城寺定男・御園生尹・大田 庸 28
各種植物ワクチンの凝集反応について	渡辺竜雄・橋爪脩一・関谷武夫 29
東京附近におけるダイコン・モザイク病・ウイルスの種類とその重複感染の状況	小室泰雄・栃原比呂志 30
茨城県における白菜栽培状況と病害について	高野誠義・祝迫親志・埜 治雄・谷 芳明 31
トマト萎凋病菌の生育に及ぼす消石灰の影響	本橋精一・阿部善三郎・平野寿一 32
トマトのタバコモザイク病と雑草との関係について	森 寛 一 33
コンニャク葉枯病および腐敗病の薬剤防除	安 正純・吉野正義・小林五郎 34
ごんずいのそうか病について	富永時任・土屋行夫 35
害 虫 の 部	
ニカメイチュウに対する苗代期防除の効果について	林 清 道 36
BHC 粉による早期栽培田に於けるニカメイチュウ防除時期	谷中清八・熊沢隆義 37
ニカメイチュウ2化期の実験的予察法	
(I) 発蛾時期について	高野光之丞・石川元一 38
長野県川中島平における二化メイチュウの発生生態について	中村文男・柳 武・早川広美 39
延徳地帯における二化メイチュウの発消長の変遷について	小林和男・田川憲夫・呉羽好三 40
茨城県における二化螟虫少発地帯の原因究明	高野誠義・高野十吾・高井 昭 41
作物の生育状況から見たニカメイチュウの発生予察	二宮 融・熊沢誠治・竹沢秀夫 42

ニカメイチュウの寄生植物(稲マコモ)に関する研究	高野誠義・高野十吾・稻生 稔	43
秩父郡下におけるセジロウンカの異常発生について	和田 利 春	44
ツマグロヨコバイに対する Dipterex の効果について	黒沢三樹男・古谷 陸	45
イネヒメハモグリバエの植付前防除について	松野忠男・早河広美・山岸義男	46
飼育によるケラの生活史	富 沢 純 士	47
キリウジカガンボの加害に対する水稲の抵抗性品種について	正 木 十 二 郎	48
陸稲に対する土壌殺虫剤の施用効果について	熊沢隆義・尾田啓一	49
コクゾウに対する燻煙剤の効果	柴本 精・山岸 義男	50
食用甘藷のハリガネムシ防除について	高野光之丞・石川元一	51
線虫の産卵能力の季節的推移について	石橋信義・気賀沢和男・国井喜章・土橋貞夫	52
マメシシクイガによる被害に関する研究(早, 中, 晩および結実日数との関係)		
	高野誠義・高野十吾・君崎喜之助	53
薬剤によるマメシシクイガの防除について	木 暮 幹 夫	54
落花生の連作とネマトーダの被害について(続報)	市原伊助・高橋芳雄	55
線虫の加害と寄主の生育	気賀沢和男・石橋信義・土橋貞夫・国井喜章	56
蔬菜畑におけるネコブセンチュウの土質別棲息密度および天地返しによる 線虫垂直分布の変化	伊藤喜隆 広瀬健吉	57
埼玉県における土壌線虫防除について	石 橋 律 雄	58
数種の殺線虫剤によるそ菜線虫防除試験	菊池哲朗・市原伊助・円城寺定男	59
ネコブセンチュウの季節的消長と各種作物における線虫の発育について		
	伊藤佳信・永沢 実・阿久津喜作・新井 茂	60
ネコブセンチュウに対する新殺線虫剤の持続性について	高野誠義・川田惣平・広原宗次	61
リンゴハダニに対するフェンカプトンの効果	呉羽好三・柴本 精・関谷一郎	62
オウトウハダニ越冬成虫の春期移動消長について	宮下忠博・知久武彦	63
ラジノクローバーを加害する数種の害虫	関 口 計 主	64
コンニャクネコブセンチュウの防除について	小尾充雄・小菅喜久弥	65
のねずみの棲息密度に関する調査	宮入芳明・塚田益夫・関谷一郎	66